

																				◆水明インターネット句会◆	令和八年七月
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
蟻もまた生きてるかぎり懲役刑	ひとさじのアイスを母の舌にのせ	一歩出て一歩ひるみぬ油照	ひまはりや人を殺せば名誉勲章	通される客間に百合の花おもく	ユニフォームの球児らくぐる茅の輪かな	散歩道芙蓉一輪ひらく朝	二人連れ無言のままに蝉時雨	踊り子の開脚六時巴里祭	青梅雨や錆びシャッターにバンクシー	吐息はき灯りの下の水中花	直射浴び男のひろく夏日傘	夜通しのあめかぜ梅雨の締めくくり	雲の峰ふたつの町をのみこめり	懐かしき時を探してラムネ玉	汗だくだ動かぬ左リハビリだ	翡翠や去りしきらめきも活色	夏逝くや病室の妻見舞えずに	バリ島の波音再生熱帯夜	カラフルなテント並べて夏の山		

◆水明インターネット句会◆																				令和八年七月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
21	蟻もまた生きてるかぎり懲役刑	22	ボンネット揺れてドヤ顔雨蛙	23	葉桜の綻びを継ぐ空の碧（あお）	24	夏物をアウトレットに纏め買ひ	25	梅雨続く屋上タンクの独り言	26	蝉時雨友呼ぶ声を掻き消せり	27	陽射しあびかけだすきみのたてになる	28	蚊を払ふテレビの中は独裁者	29	還暦も少女に戻る船遊び	30	駄菓子屋に見掛けぬ店主夏休	31	また一人死なねば会えぬ人星祭	32	睡蓮の笑くぼに遊ぶ蛙かな	33	埋まらない記憶のパズル半夏生	34	草刈るや濡れた衣に絡む草	35	網替えて出目金狙う翁の眼	36	海女の骨夕焼（ゆやけ）の海に還りけり	37	炎天や串の根もとに紅しようが	38	朝涼や風をまとひて太極拳	39	白銀の箸の滴よ夏料理	40	天灼けて犠牲者の出る線路かな																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			</

◆水明インターネット句会◆																				令和八年七月																			
41	秋めくや勿来関を越ゆる風	42	嗚呼溽暑あえぎて星の涼しさよ	43	天国の妻まで昇る入道雲	44	トロツコの黒部峡谷夏の山	45	顔朱し甘酒飲みし下戸な我	46	夏の海暮れぬうちから爆竹よ	47	レース服そよがせ眠る姉妹かな	48	梅雨の明け手織りの機を杼が走る	49	睡蓮や奏でし雨のピアノシモ	50	朝焼けは時化の兆しやオホーツク	51	アロハ着て通勤電車の隅に座す	52	軽みとは日本のこころパリー祭	53	ニメートルため息洩れる夕端居	54	鬼ごっこ声のゆくへに夏のそら	55	アイスクリーム女にも七人の敵	56	夕顔の暮色に溶ける悲恋かな	57	天皇も僕も言ひたいことを言ふ	58	怪獣のやうな寢息や日焼けの子	59	ファンファーレ奏でるやうに百合の花	60	どの朝の暑さも一期一会なり

◆水明インターネット句会◆ 令和八年七月		61	馴れ染めは風に拾うた夏帽子	
		62	蟪蛄や脱皮の度にオトナブルー	
		63	一匹の蛍が泳ぐ真の闇	
		64	どの朝の暑さも一期一会なり	
		65	夏の雲我が故郷の過疎っぶり	
		66	額寄せ子の手の中の初蛍	
		67	暑き日や間欠泉の鼓動鳴る	
		68	扇風機強に切換へ豆カレー	
		69	ごめんねを上手に言えて西瓜食む	
		70	夏の夕過ぎ去りしときよみがえる	
		71	ひまわりの渴いた土に養われ	
		72	サングラスの少年怪しき本を買ふ	
		73	町ごとの家紋揃ひぬ夏祭	
		74	蝉時雨墓も移りて故郷よ	
		75	熱帯夜夢の中まで熱帯夜	
		76	夏休みキャリーバッグが鬨ぎ合ふ	
		77	拝啓の後は真白や髪洗ふ	
		78	涼しさや出刃に彫られしわが名前	
		79	室外機のうなる路地裏蟻の塔	
80	虫干や✖✖多き 昭和の書			

(5)

[illegible]